



## No.1 【 瀬戸内の魅力発信プロジェクト 】

【 研究キーワード：まちの元気づくり、バーチャルリアティー、魅力発信、SNS（健康心理学） 】

国際学部 国際学科

教授 山口 光明 YAMAGUCHI,Mitsuaki

### 研究シーズの概要

#### 瀬戸内の魅力をバーチャルリアティーで楽しめるシステムの向上 と 瀬戸内の魅力発信

瀬戸内の観光地（広島市、尾道市、呉市）や瀬戸内の魚を全天球カメラ（360 度カメラ）で撮影し、その映像をバーチャルリアティーで楽しめるシステムを活用しています。VR ギアでの臨場感の体験 以外にも、SNS（フェイスブック、ライン、ストリートビューなど）を通じて、瀬戸内の魅力を発信するプロジェクトに取り組んでいます。

現在、水中撮影した魚の映像をバーチャルリアティー技術で楽しめるシステムの向上にも取り組み、広島県の水産海洋技術センターや瀬戸内にある大崎下島の久比地区とも連携しながら、まちの元気づくりプロジェクトとして展開していきたい。

### 研究シーズの詳細

#### ◆研究例①◆

大学の地域について考える科目の中では、瀬戸内の水産業の課題とこれからの可能性について、実際に魚と関わりながら考えるようにしています。

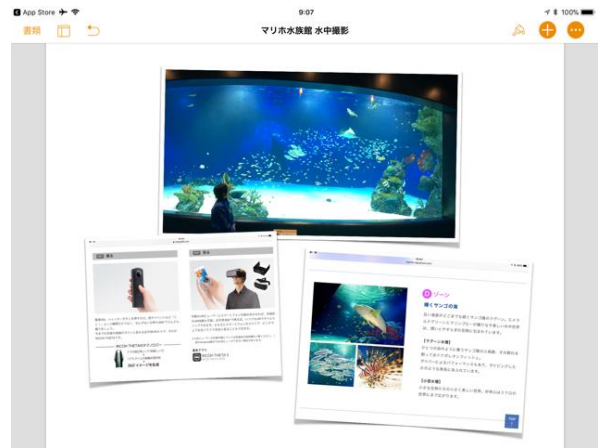
これまでの瀬戸内の魅力発信として、「フォアグラハギ（広島県が登録商標取得）」のブランディングに水産海洋技術センターと連携して取り組んできましたが、2018 年からはバーチャルリアティーの技術を活用した瀬戸内の魅力発信について試行錯誤しています。

現地での活動先として、広島県水産海洋技術センター（呉市）があり、魚を身近に感じられる映像を撮るために全天球カメラ（360 度カメラ）を使った水中撮影を試みています。

この撮影技術をカキ筏での水中撮影に活用することで、チヌ（黒鯛）やウマズラハギの生態の研究にも活用していきます。

#### ◆研究例②◆

地域の魅力発信のために、全天球カメラ（360 度カメラ）で撮影した映像を SNS（フェイスブック、ライン、ストリートビューなど）に投稿することによって、バーチャルリアティー技術でその場にいる臨場感を楽しむこともできます。



### 想定される用途・応用例

- ◆瀬戸内の観光地の SNS（フェイスブック、ライン、ストリートビューなど）による魅力の発信
- ◆水中撮影技術とバーチャルリアティー映像の提供（連携先：広島県水産海洋技術センター（呉市））
- ◆瀬戸内の魅力的な地域の全天球カメラ（360 度カメラ）での撮影と撮影したデータの提供（大崎下島）

### セールスポイント

本プロジェクトでは、「磨けば光る瀬戸内の魅力」を学生たちが自分たちの視点で探索し、すぐれた観光資源を VR（バーチャルリアティー）の技術を用い撮影し、その魅力を SNS で発信することで地域のブランディングを目指している。そのプロセスでは、水産海洋技術センター（呉市）からの技術相談に応えながら、水中撮影やバーチャルリアティーの技術を高める工夫を繰り返しており、国際学部だけでなく情報科学部の教員や学生の力を集積させています。

問い合わせ先：広島市立大学 社会連携センター

TEL:082-830-1764 FAX:082-830-1555

E-mail:office-shakai@m.hiroshima-cu.ac.jp

〒731-3194

広島市安佐南区大塚東三丁目 4 番 1 号

（情報科学部棟別館 1F）